



Earth  
Caravan

# マルチカルチュラルジャーニー バルカン 2018

ボスニアヘルツェゴビナ & セルビア



# トウズラ & スレブレニツァ (ボスニア) – ペトロヴァツチ・ナ・ムラビ (セルビア)

2018年 7月1日～7日





# アースキャラバンって？

‘分かちあおう地球を、幸せと自由を！’

- ❖ 国籍や民族、宗教、文化の異なる人々と融合し、平和と幸せを分かち合う地球巡礼の旅
- ❖ 戦争や惨事・災害の傷跡が残る場所を訪れ、芸術や音楽、タオ指圧、異宗教合同の祈りを通して人と地球の傷を癒す旅
- ❖ 世界から争いを無くし、明るい未来を創造



- ❖ ピースマーチ、ピースサイクリング
- ❖ コンサート・文化交流イベント
- ❖ タオ指圧・気と心のワークショップ
- ❖ 地元プロジェクト支援
- ❖ 異宗教合同の祈り、平和のメッセージ





2015年から

日本 - ヨーロッパ - 中東 - カナダで活動

[www.earthcaravan.jp](http://www.earthcaravan.jp)



## 2018年夏のプログラム

- 7月1日 タオ指圧ワークショップ in トウズラ
- 2-4日 スレブレニツァ、地元プロジェクト‘希望の街’訪問
- 5-6日 ボスニアとセルビアを結ぶピースサイクリング
- 7日 ペトロヴァッチ市の小学校にて文化交流イベント



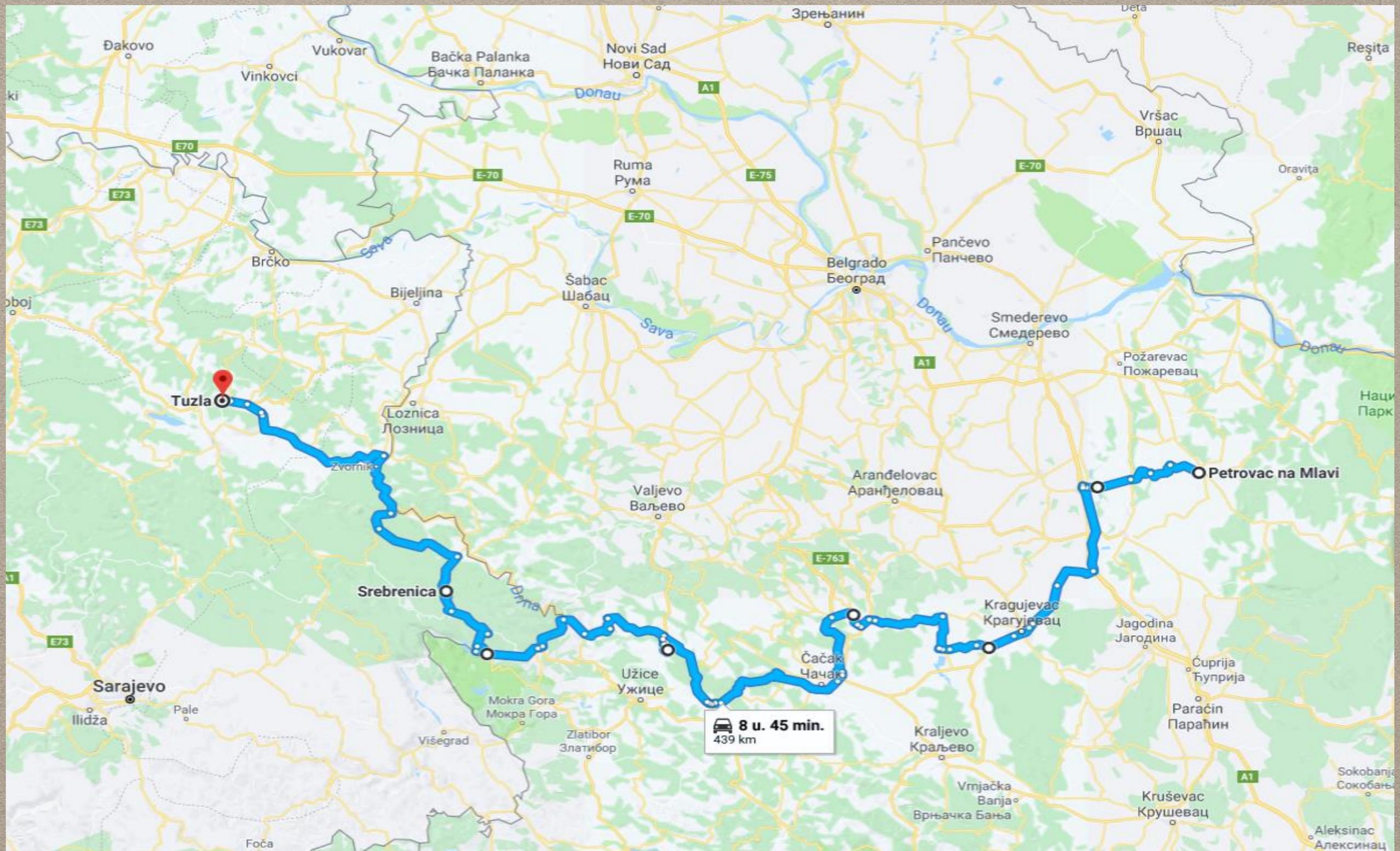
# 旧ユーゴスラビア連邦

## FORMER YUGOSLAVIA

AS OF 1 JANUARY 2008



# トウズラー-スレブレニツァ-ペトロバッチ・ナ・ムラビ



## バルカン戦争 1991-1999

1991: スロヴェニア、クロアチア独立

1992: ボスニア内戦勃発

1995: デイトン合意でボスニア内戦終結、ボスニアは3つの国に分かれる連邦制となる

1996-99: コソボ紛争

旧ユーゴ合計で約14万人が  
戦闘、民族浄化による集団虐殺の犠牲者となる  
さらに最低でも14.000人が行方不明 (グリーンピース).

Bron: <https://isgeschiedenis.nl/nieuws/overzicht-van-de-joegoslavische-burgeroorlog>

バルカン戦争でも一番熾烈を極めたボスニア内戦では、

- 人口の約半数2,200,000人が国を追われ、世界中に散らばる
- 死者は100,000人以上 (内民間人40%)
- 民族別犠牲者内訳：ボスニアック (ボスニアのモスリム教徒) 65%, セルビア人25% クロアチア人 8%
- 15,000 - 20,000 の婦女子がレイプされたといわれ、
- 1995年7月、スレブレニツァで約 8,300人のボスニアック人が無差別集団虐殺の犠牲となる。 (第二次大戦以降最悪のジェノサイド)

Bron: <https://www.trouw.nl/home/aantal-slachtoffers-oorlog-bosnie-overschat~aa84b10f/>

トウズラ

タオ指圧ワークショップ

「平和の灯の家」にて

*Kuca Plamena mira (Peace Flame House)*



トゥズラとはトルコ語で塩の街という意味  
6,000年の古い歴史を刻む



# 中心地

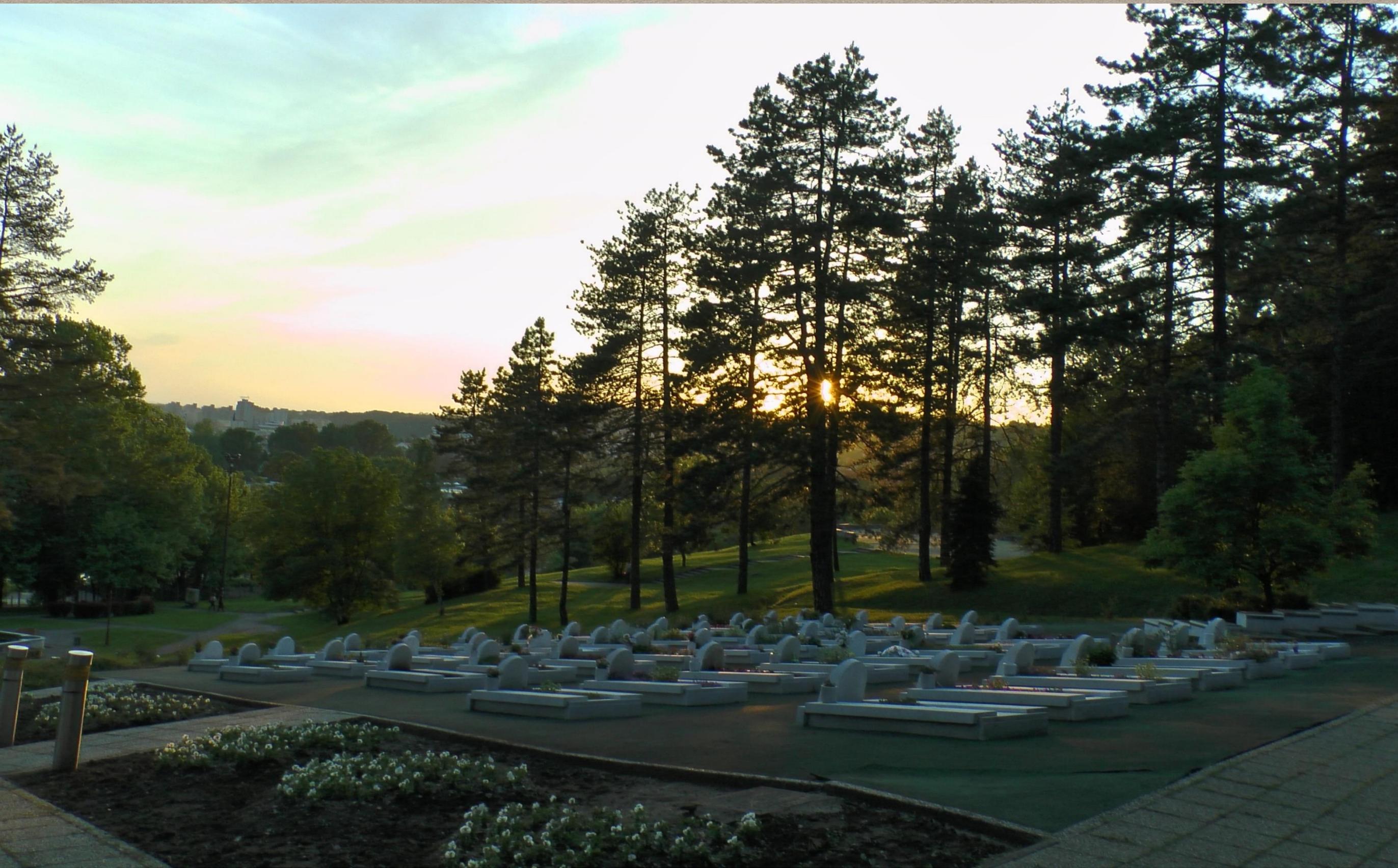




## カピヤ広場

90年代民族主義政党が全ボスニアを席卷する中で、トウズラはバルカンで唯一超民族政党が第一党を守り市民が団結し続けた街

1995年5月25日中心地が爆撃され74人の若者達が犠牲に最年少は3歳、240人が負傷



犠牲者の墓も異宗教合同で同じ場所に（平和の灯の家の隣）



この戦争の傷口は深く開いたまま



それでも若い世代が「平和の灯の家」建設にかかわる  
(タイルのデザインは彼らが)



ホールに入るとユニークなタイルの床が印象的



世界への願いが刻まれて

‘未来’ ‘平和’ ‘友達’...

平和の灯の家 : *Kuca Plamena Mira - Peace Flame house*





タオ指圧は、

- ❖ 仏教の霊性と実践
- ❖ 気と心の技法

を基本として、



- 深いトラウマの癒しが可能
- 受け手の無意識をポジティブなものに変革し
- 受け手とその周囲、社会、世界にその癒しが広がる



経絡法と練気





どんな心が人の気を  
強くする？

自己中心的な心か  
思いやりに満ちた心？



タオ指圧デモンストレーション



受け手に最善を願う  
と、、、

触れる前に既に  
体が反応！





「人生で初めて、私の心は今日やっと真実開いたと感じました」

# ワークショップ後テラスで夕食





伝統的な  
ボスニアン・コーヒー  
で一息



銅製の専用の入れ物が美しい。  
コーヒーは下に沈んでいるので注意！



ボスニアに海はないけれどクロアチアから来る  
海産物は豊富、イカのグリルは絶品!



路上の野菜売り 肥沃な大地と太陽で農産物は豊富

スレブレニツァ  
「希望の街」プロジェクトと巡る  
街の素顔とドリナ・アドベンチャー



## 「スレブレニツァ、希望の街」プロジェクト

ミッション: スレブレニツァ市と周辺一帯の社会的、経済的、文化的活性化を目指す

- 異なる'民族'が平和に共存するコミュニティの「再」創造
- 自然と調和したエコロジカルなライフスタイルの提案

## 活動の三つの柱

- ❖ 有機農場 – ファームステイ、エコ農産物の販売
- ❖ エコ・ツーリズム：ドリナ・アドベンチャー  
地元の豊かな自然・文化歴史を体験
- ❖ 学ぶ：生き残り、帰還者の家に滞在・交流を通しての  
平和のメッセージ発信

「スレブレニツァには200m以  
内にセルビア正教の教会、  
モスケ、そしてカトリックの  
教会が建っている。セルビア  
人とモスリムはずっと一緒に  
住んできたんだ。」





「自分たちはこのメッセージを世界に発信しなければならない。

もし私達がここでまた一緒に暮らせるなら、世界のどこだって可能だ！ってね」

イルヴィン・ムイチッチ  
希望の街プロジェクト発起人

# ポトリャリ (ジェノサイドメモリアル)



95年の虐殺事件の時  
イルヴィンは6歳。イタリア  
に母と兄弟と避難し、  
5年前の26歳の時に戻り、  
希望の街プロジェクトを  
立ち上げる。

彼の父の遺体は未だに  
見つかっておらず、  
叔父の墓だけがある



# メモリアルセンター



11. juli  
11 July

U poslijepodnevnim satima 11. jula,  
general Mladić trijumfalno ulazi u  
napušteni grad Srebrenicu.

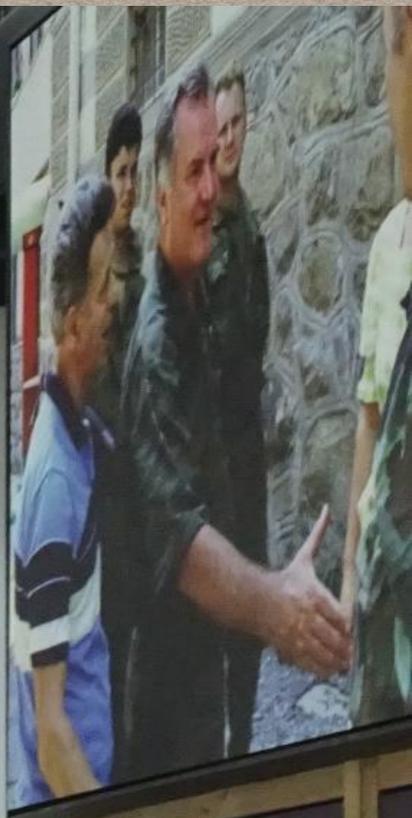
On the afternoon of July 11th,  
General Mladic triumphantly enters  
the deserted town of Srebrenica.

Share the Earth.  
Happiness and Freedom

Earth  
Caravan

Earth  
Caravan

Earth  
Caravan



**Öğrencilerimiz**  
Bu süreçte öğrencilerimize yönelik çalışmalarımız, eğitim ve öğretim faaliyetlerimiz, sosyal ve kültürel etkinliklerimiz, sağlık hizmetlerimiz ve diğer faaliyetlerimiz hakkında detaylı bilgi için lütfen bizimle iletişime geçiniz.





学芸員のハサンが詳しく  
ガイドをしてくれた  
彼は当時16歳。





## ピリツア文化センター (セルビア)

集団虐殺の場所の一つ  
此処では500人の男性が射殺  
された。ハサンの双子の兄  
弟がその一人。

当センターは何事もなかったようにまた使われている。  
戦争のことを思いさせるのは、セルビア兵士の犠牲者に捧げられた  
プレートのみ。事実の認識と和解のためにまだすることが山積し  
ている。

「私たちは「ボスニア人としてのアイデンティティ」を  
再発見しなければならない。

社会の中で、異民族・異文化の混在は**普通**のことだっていうね。

再び、共に生きていけるようになるためには、  
ユニティ（連帯すること）が必要だ。

ハサン・ハサノヴィッチ



最近出来たスレブレニツァ・地ビール製造所訪問：  
スレブレニツァとは、銀の街（シルバータウン）という意味





右から：マリンコ、サンドロ、アリヤン

マリニコはセルビア人で、元教師、現ジャーナリスト。  
ボスニア内戦時はスレブレニツァから逃げなければならなかった。  
何故なら、徴兵によって、妻（モスリム）の父を撃ち殺すことなど  
まっぴらごめんだった。

戦争が終わって3年後、地元へ帰還、日々ボスニアック人とともに  
生活し、仕事も共にしている。

「セルビア人、ボスニアック、クロアチア人とは民族が違うのでは  
なく、宗教と文化の違いに過ぎない。*DNA*からすると我々南スラブ  
人は皆同じ国家に属するはずなんだ。」（マリニコ）

息子のサンドロの一番仲の良い友達はアリヤン、ボスニアックだ。

普通の人々のレベルではこれは全く普通のこと。

でも、政治のレベルになると、未だにとてもデリケート。  
政治家は人々が分断されていることを望むから。



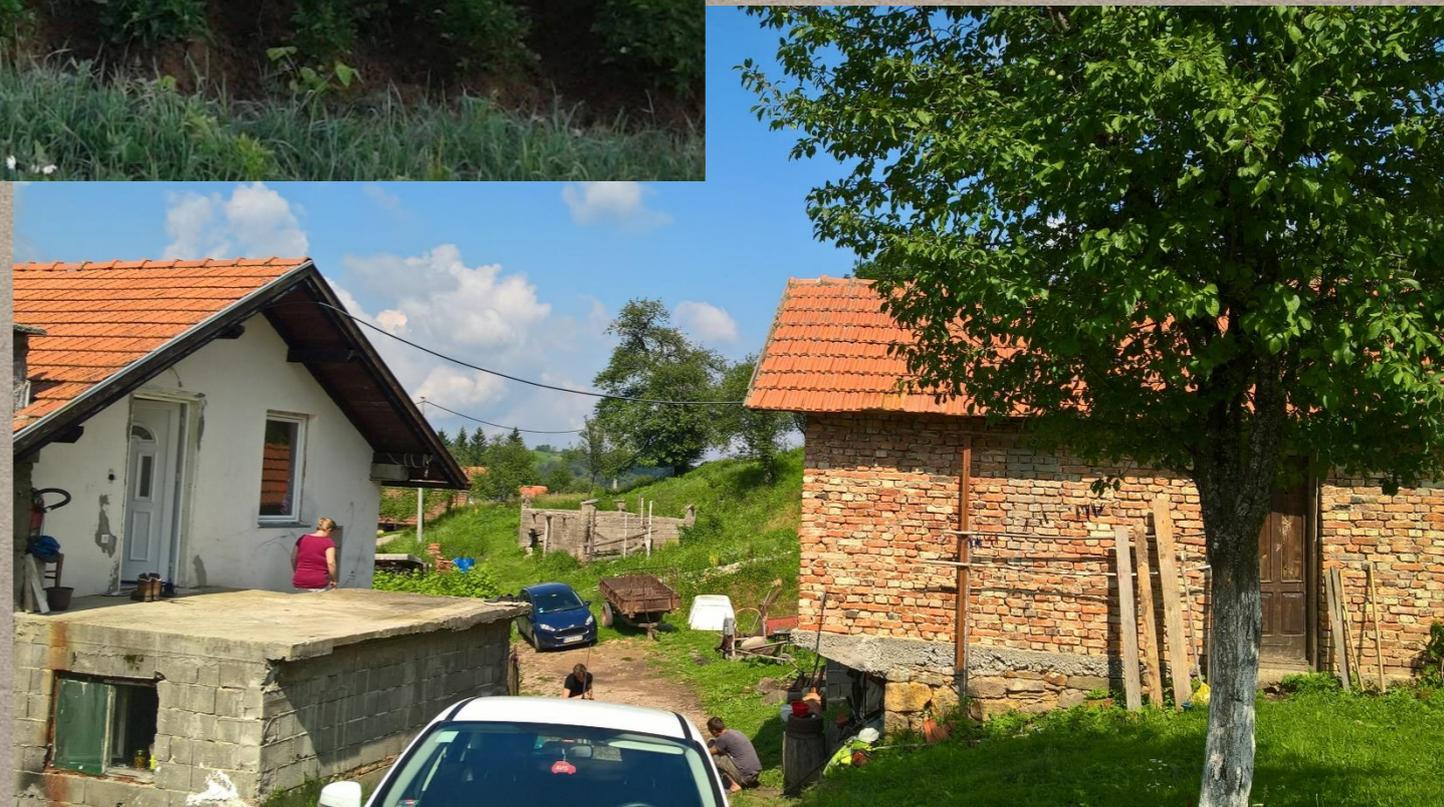
4つの地ビールはそれぞれ物語がある





「来てくれて本当に有難う、是非また来て下さい！」（アリヤン）

オスマチェ村の有機農場、スレブレニツァから20km





帰還者のアゼムは自分の農場を  
プロジェクトに寄付





今も残る  
戦争の傷跡



アゼムの家で大歓迎を受ける。  
妹さんは料理上手





ローカルフードの味は格別





翌日は地元音楽家・詩人エミンの家でランチ





伝統的な楽器  
サズと  
琴のセッション



彼らはボゴミル、  
自然と花のパワーを  
信じている











アジズ（前列中央）の家で宿泊、彼は戦争末期ドリナ川の断崖の洞窟で2か月過ごし生き残る。



アジズの村のメモリアル、全住民の10%が犠牲者に。  
帰還者は当時の人口の10%に過ぎない





ドリナ川峡谷 ここは歩いてしか行けない



ドリナ川と昔の街跡



ドリナ峡谷の  
クルーズ



険しい断崖も湖に近づくとなだらかに



# ペルチャッツ湖







自然と人が本当に近い！  
橋を渡る羊  
そして山に消えていく



# ボスニアからセルビアへ ピースサイクリング





息をのむ大自然の美しさ  
どこの村にもある慰霊碑が痛ましい





美しい自然の中を祈りとともにサイクリング  
「この地には決して再び戦争が起こりませんように」

# スケラニ、セルビアとの 国境の街





休憩で偶然立ち寄った  
スーパーで、、、

素晴らしい出会いが！！  
帰還者のメブリダさん、地元の女性のために奮闘する活動家  
2年前に援団体を立ち上げた





「ここでは女性は家から出ないで子供の世話や家事をして過ごすのが普通なので、孤立しがち。私は彼女たちを家から出るように勧め、一緒にものづくりをし、それを売ったりしています。」

「最初はボスニアックだけでしたが、今はセルビア人女性も来るようになり、一緒に活動しています。本当に素晴らしいことです！」

「ここでは家庭内暴力も未だに深刻な問題です。だから彼女たちが家の外へ出、他の人たちと出会い、支えあうことが大事です。」





ドリナ川：ボスニアとセルビアの国境





自転車で国境を越えました！



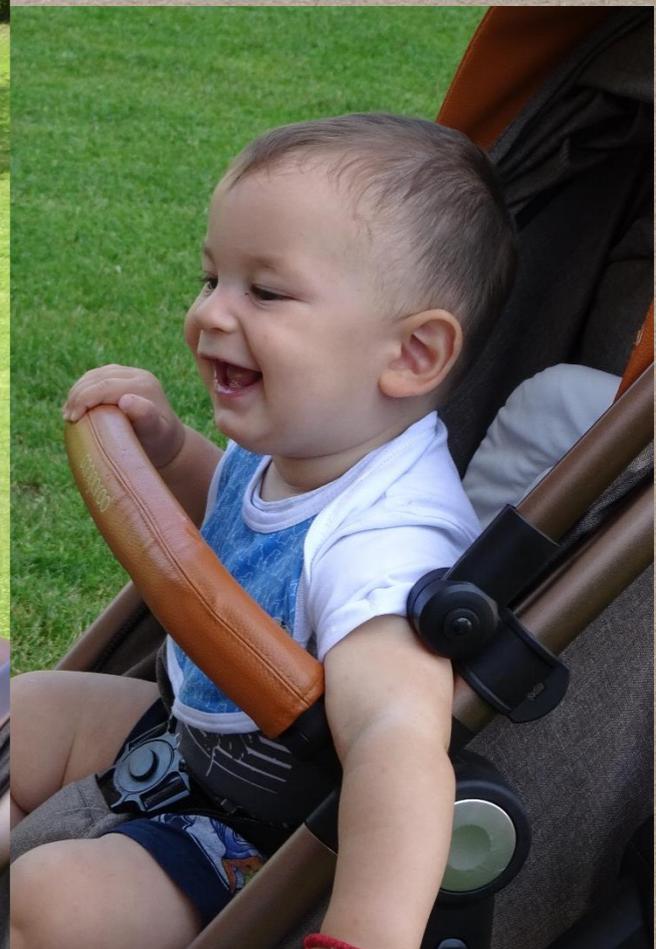
セルビア、ミオニツア村のB&B到着、  
リンゴの木の下で休憩、地酒スリヴォヴィッチ  
でおもてなしが伝統的





学校でのイベント  
の準備作業に余念  
がない

作業は夜遅くまで  
続いた。。。。







ミロゴシェ：アルプスを思わせるような自然



ディヴォステイン修道院 15世紀から建造、1974に再建.



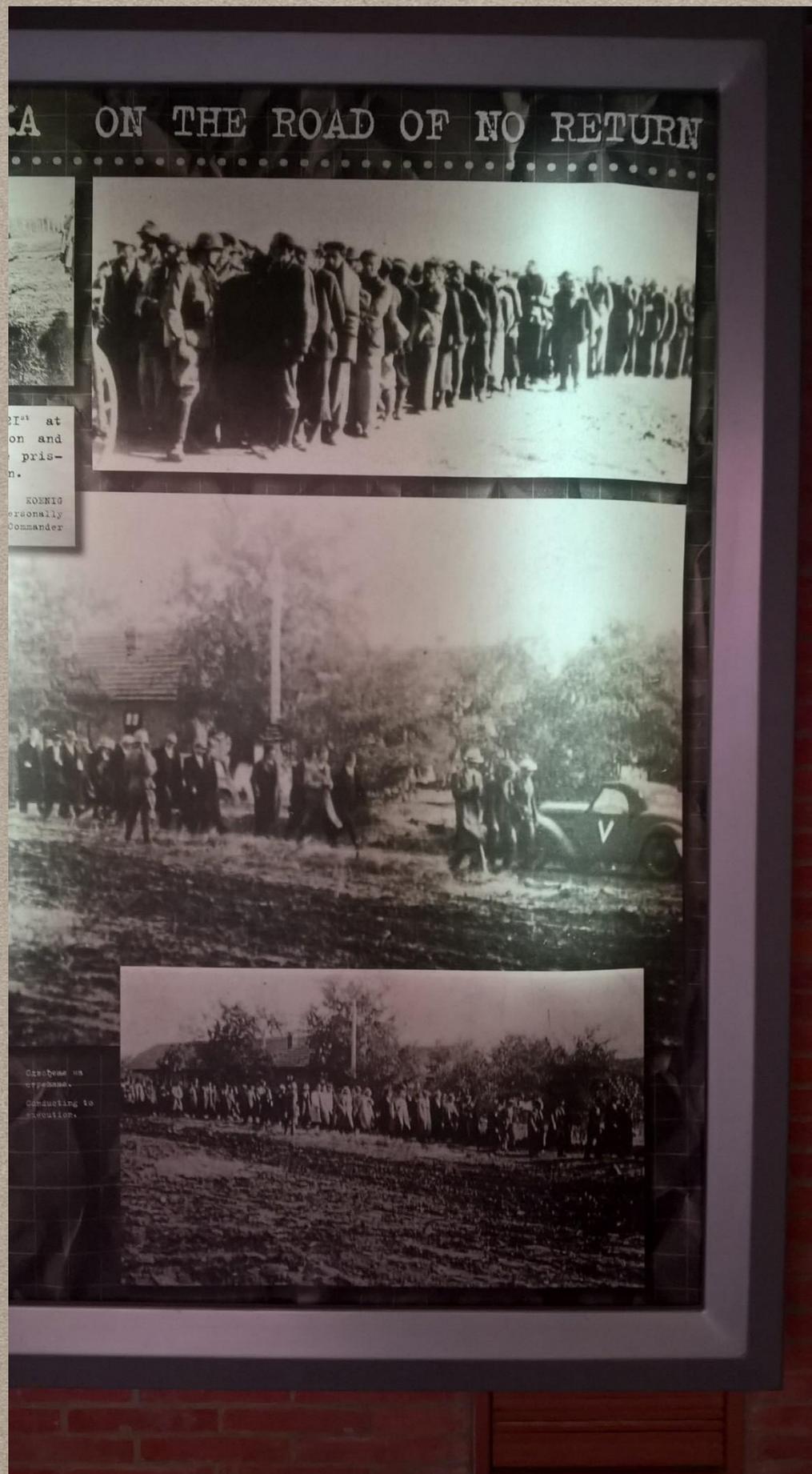


クラグエバッチメモリアル：  
学生と教師が眠る集団墓地のモニュメント



偶然選んだサイクリングロード国道177は、  
ナチス占領下 1941年にパルチザンとの激しい戦いがあった場所





## クラグエヴァッチ10月の虐殺

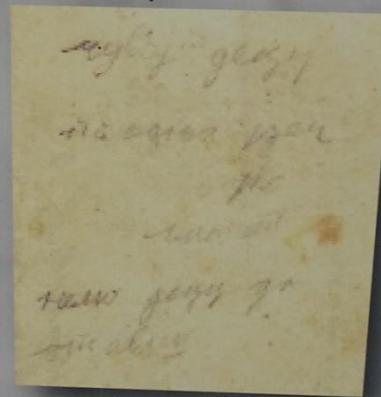
その戦いで死傷したドイツ兵の復讐のため、2800人以上の無実の男性市民が集められ射殺された。2つの高校生のクラスも含まれる。1944年10月21日。

ドイツ兵1人の死者につき、100人、負傷者につき50人の民間人という恐ろしいきまりであった。

同じころ、近郊のクラリエヴォでも同様の事件が起こる。  
約2000人のセルビア人集団虐殺（19人が女性、最年少は14歳）。

この二つの事件により、一週間以内で5000人以上の民間人犠牲者が出た。これは、セルビアにおける第二次大戦中最悪の戦争犯罪で、二つの街は以後孤児と寡婦の街になってしまった。

## 処刑直前に書かれた葉書



Боривоје Иванић  
37, бравар

Чувај децу последња  
реч Бора  
Аманет немо(ј) децу да  
о(с)тавиш

Borivoje Ivanić  
37, locksmith  
Take care of the children  
my last words Bora  
Promise never leave the  
children

「子供たちを頼む、  
決して子供たちから離れないと約束してくれ」



「全ての戦争行為は愚かしい悪であり、英雄的な偉業などではない。」

マルコ・テルジッチ  
メモリアルの学芸員

「私達は、普通の人々が、子供まで射殺するような人間に変わってしまう状況は何なのかを理解しようと努めている。

戦争の本質は何なのか、また過去から学ぶために、ネットワークを創りお互いにコネクトし合うことを進めている。」

「政治の中では、戦争を始めるために旗や他のシンボルが使われる。私達は戦争を防ぐために、是非とも戦争を準備する段階でどんな言葉や方法が使われるのか理解しなければならない。

クラグエバッチのようなことが二度と起こらないように、という願いはユートピアのように聞こえるかもしれない。

しかし、もし次第に沢山の人がお互いに連絡を取り合って戦争反対の心をシェアして行けたなら、政治に良い影響を与えそして全世界の状況を変えることが出来るかもしれない。」





アースキャラバンとのコラボレーションを楽しみにしています



伝統的セバツピはひき肉のグリル、  
バルカンでよくあるメニュー





セルビアビール

# ペトロバッチ・ナ・ムラビ 文化交流イベント





**ДОБРО ДОШЛИ**  
У ОПШТИНУ  
**ПЕТРОВАЦ НА МЛАВИ**

**WELCOME**  
TO MUNICIPALITY  
**PETROVAC NA MLAVI**



# イベントに先駆けて市長から平和のメッセージ受領





*Peace - always, above all and after all*

*A commonly used word, and most often not honored. As Eleanor Roosevelt states: "It isn't enough to talk about peace. One must believe in it. And it isn't enough to believe in it. One must work at it". There are so many wise sayings about peace, and so little progress about bringing it about. For thousands of years humankind has been thinking, writing and singing about peace, but in reality the wars are continually lead, and often under the pretext of creating peace, people are being killed, homes ruined.*

「平和については話すだけでは十分でない、  
可能であると信じること、そしてその為に行動することが必要だ。

もし我々が愛と非暴力を実践し、日々子供たちにそれを伝えるなら、  
平和実現に向けて一歩大きく踏み出しているはずだ。」

# イベントのオープニングで小学校の子供たちが 伝統的なダンスを披露





子供たちにアースキャラバンを伝える

# 折り紙ワークショップ



イスラエルから持ってきた  
地中海の貝殻でネックレス作り

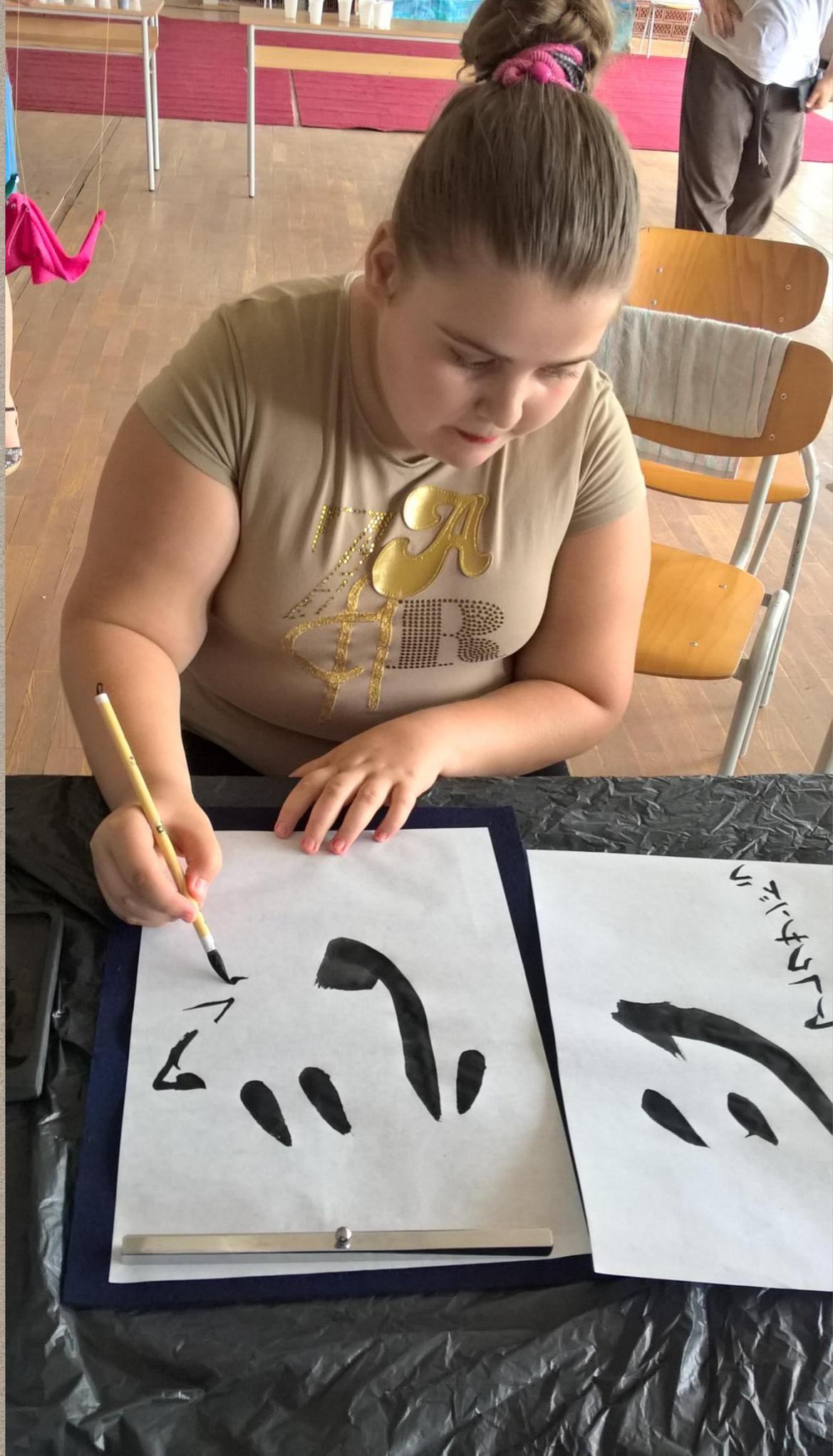




ヘブライ語でカリグラフィ



勿論日本語でも





マリオネットづくり







お寿司づくりにも挑戦！



タオ指圧はどこでも大好評



イベント縁の下の力持ち：校長先生ヴェスナ（右），  
教師のイワ（右から2人目）とドラガナ（左から2人目）。ありがとう！



「私たちは、人と人との絆を創ることが、連帯感を持てる  
コミュニティの基礎になると信じています。  
お互いを気遣いケアしあえる社会の。」



イベント終了後、地元のフェスティバル訪問。ここでも伝統ダンスと歌は大切なプログラム子供たちに受け継がれている



ここはペトロヴァッチ市内の  
ダンス専用の靴屋さん





← 男性用 と女性用 ↑  
は形が違う



フェアウェルディナー  
大きなトルコ風パンは  
皆でシェア

イカのグリルは各所で  
微妙に味が違う





アースキャラバン@バルカンを共にクリエイトしてくれた地元の人々に限りない感謝を捧げます ♡

平和の灯の家（トゥズラ）

[www.kucaplamenamira.ba](http://www.kucaplamenamira.ba)

スレブレニツァ・希望の街

[ww.srebrenicahope.wordpress.com](http://ww.srebrenicahope.wordpress.com)

シルバータウン醸造所

[www.facebook.com/silvertownbrewery](http://www.facebook.com/silvertownbrewery)

ヨハンセルバノヴィッチ小学校（ペトロヴァッチ・ナ・ムラビ）

[www.facebook.com/OsjovanSerbanovicRanovac](http://www.facebook.com/OsjovanSerbanovicRanovac)

クラグエバッチオクトバーメモリアル

[www.spomenpark.rs/en](http://www.spomenpark.rs/en)



地球が一つの家族となる日、私達の夢



子供たちに最善を手渡せるように、彼らは私達の未来



アースキャラバンヨーロッパに参加しませんか！

今年のプログラム：[www.earthcaravan.jp](http://www.earthcaravan.jp)

FB: Earth Caravan Europe：<https://urlzs.com/gwQU>

問い合わせ・お申し込み：[miwa.earthcaravan@gmail.com](mailto:miwa.earthcaravan@gmail.com)